

平成 30 年度 認知症地域支援推進員 活動報告書 (2) (泉南市)

I 認知症への理解を深めるための普及・啓発

住民啓発として、認知症キャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座の開催と、医師や医療介護の専門職で地域（自治会もしくは老人会単位）に出向き認知症等をテーマに住民とのグループワークを開催している。

II 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の連携

泉南市では、平成 30 年度から医療介護等の多職種や明日へつなぐ会（介護者家族の会）の代表等にお集まり頂き、認知症施策全般を検討する認知症ネットワーク会議を年 3 回、開催した。個別相談としては、地域包括支援センターや認知症初期集中支援チームなどと連携し、専門病院受診や介護保険サービス等に繋いでいる。

III 若年性認知症の人やその家族への支援

個別相談としては、1 件あり介護保険サービス等に繋いだことがある。その他の活動としては、市内にある NPO が月 1 回、主催している若年性認知症の集いがあり、何度か参加させて頂いたことがある。

IV 認知症の人の介護者への支援

明日へつなぐ会（介護者家族の会）へ何度か参加し、質問があった場合に情報提供を行っている。

V 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり

認知症サポーター養成講座や医師や医療介護の専門職で地域（自治会もしくは老人会単位）に出向き認知症に住民とのグループワークを開催している。

VI 会議や研修等の実施及び参画

ケアマネジャー向けに「パーソンセンタードケア」について研修会を開催した。